

第 72 回例会

福井いきいき会

実施期日：平成 30 年 12 月 27 日（木） 会 場：アオッサ 706, 707 号室：

催もの：パネルディスカッション：テーマ：当会の活動を魅力あるものにするには

参加者：67 名（内新会員 4 名）

今回は当会最初の試み：パネルディスカッションを実施した。これは、最近活動がやや停滞気味ではないかという危機感と、さらに充実した活動を目指そうという意図のもとに開いたもので、テーマも前もって「当会の活動を魅力あるものにするには」と案内して開催されたものである。ディスカッションに入る前にコーディネーター大野が 5 人のパネラー（福井会長、吉岡副会長、濱田相談役、竹内顧問、小林：音楽・合唱世話役）を紹介し、テーマ設定の理由、ディスカッションの進め方を簡単に説明した。

まず最初に 5 人のパネラーに、今までにこの会の理念：一生勉強、一生感動、一生青春のキャッチフレーズのもと、高齢者が生きがいをもって生活することを目的とする我々の活動がどの程度達成されているかについて（1）大体達成されている、（2）どちらかと言えば達成されている、（3）どちらかと言えば不十分、（4）不十分の選択肢で尋ねてみた。結果は濱田氏が 80 点の高い評価、残る 4 人も点数はつけなかったものの合格点をつけた。中では吉岡氏が改善に意図する点があることを伺わせる発言があったが、後程伺うとして評価だけを聞き置いた。

以降パネラー全員に *最近各サークルとも参加者が減少気味の傾向にあるようだが、皆さんはどう思うか。またその原因は何だと思うか。*会員を増やす良い案はないか。*サークル活動の魅力を増すにはどうすれば良いか。の統一質問に加えて、各パネラー独自の立場での質問も加え、一人ひとりから回答を求めた。以下はその回答である。

福井会長に（1）この会を立ち上げるに当たって、最も苦労した点は何ですか

（2）今の諸活動をさらに改善したいと思うことがありましたらお聞かせください

* よくここ(6年間も)までやってこれたというのが実感で嬉しい限りだ。苦労というより吉岡氏をはじめ沢山の会員に支えていたただいたお蔭だ。年を取ると悩みが増える、それを気軽に話せる場となれば有難いし、活動が終わった後喫茶店等でストレス解消するのも良い。私自身の健康に不安もあるが高齢者が生きがいをもって人生が送れるよう今後も頑張っていきたい。

吉岡副会長に（1）担当されるサークルが最も多いが、どんなことを念頭に担当されていますか。（2）新しい会員を増やし、その会員に意欲的に参加してもらえる方法をお考えのようだが、具体的にはどんなことでしょうか。

* 参加者の多少に関わらず会員に喜んでいただくことをモットーとしている。「写真を懐

かしむ会」はネタ切れを感じて「インターネットで世界旅行」と名称を変え、発展的解消をしている。新会員の募集に関しては組織だったものを作りたい。市や県とも協力して入会希望者を募り、一室に集めてオリエンテーションをしてはどうかと思っている。そこでは必要に応じて世話人が細かく活動内容を説明すると良い。いきいき会のホームページを活用するのも一つの方法だし、福井いきいき会新聞を発行して情宣するという方法もある。また、書道等、サークルによっては回数を増やせばよく、午前の時間も使えばよい。そうすると適当な活動場所も今後の問題として検討していく必要がある。

濱田相談役に (1) 会員の中でも最も意欲的に参加されていると思われませんが、どんな点に魅力を感じていますか。(2) あなたが描く会の将来の展望をお聞かせください

* 家でひっそり一人で暮らす高齢者は、積極的に人と交わる人に比べ認知症をはじめいろんな病気にかかる率も高く、老化も進み、死亡する割合も高いことは、既に多くの研究者によってその割合まで明確にして証明されている。私が 90 歳半ばを過ぎてなお元気に過ごせるのは人と交わる絶好の機会をこの会で得たお蔭である。孤独な人を引っ張り出して、われわれと交わる楽しさを与えてあげるのもこの会の使命だと思っている。

竹内顧問に (1) 比較的新しい会員として、この会の長所、短所とは何だと感じていますか。(2) この会を魅力あるものにするにはどうしたらよいとお思いですか

* バリエティに富んだ内容で気楽に参加出来、のびのびと活動できる点が良い。以前別の会に入っていたこともあるが、肩苦しい思いがした。特に短所という点も思い当たらず、このままの仕組みでいけばよいのではないか。

小林：音楽・合唱世話役に (1) サークル活動の世話人として、運営上不都合なことはありませんか。また条件を整えれば運営しやすいのにとまっていることはありませんか。(2) 会員に喜んで参加してもらえるために、どんな点に気を使っていますか

* 参加する皆さんに楽しんでもらえることをモットーにお世話させて頂いているが、合唱は十人以下では活動しにくいし、伴奏者がいないのがやりにくい。音楽では皆さんはどう感じているのでしょうか。(と参加者に問いかける。)

フロアからの意見 ・会員が多ければよいというものではないのではないか。当会をモデルにして是非多くの会が出来て欲しい。音楽ではレコード鑑賞を期待していたが、CDばかりで参加する意欲を失う。私語が多いのもあまりよくない。(これに対しては、CDは扱いやすく、時間の調節も可能という意見があった。) サークルに関しては複数回の開催を望む声があった(書道)。サークルの独特の雰囲気が出来てしまっているのも、新入会員は馴染みにくいのではないか。会員の意見を吸い上げるため、ご意見箱を設置してはどうか。などの意見があったが、フロアからの積極的な意見はあまりなかった。

なお途中、知事選候補の杉本達治氏がお見えになり、討論を一時中断して挨拶を受け、福井会長が推薦状を手渡して「頑張ろう」を三唱、氏を激励した。 以上 大野 記